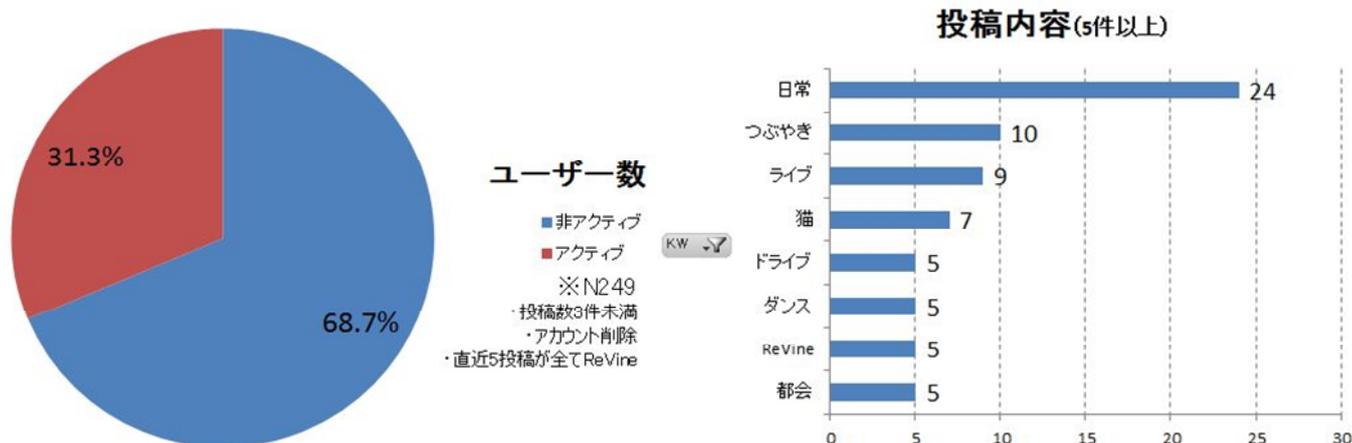


Vine 動画の国内投稿状況、実態調査を集計、結果発表

ー 国内 294Vine アカウントを調査、犬より猫、身近なものを撮影する傾向 ー

<http://minidoga.jp/blog/20140409.html>



継続して3件以上投稿しているユーザーは全体の31.3%

投稿内容の上位は身近で気軽に撮影できるものが多い中、ライブや猫も人気。

国内 Vine ユーザー検索の「ミニ動画 JP」を運営する有限会社教材ドットコム(所在:東京都渋谷区、代表取締役 吉田喜彦)は、249 件の Vine 動画の調査を行い、アクティブ状況や内容についての集計結果を発表いたしました。

初投稿からの継続状況などを推し量る目的で、Vine 動画のうち、2013 年中に「firstpost」というタグ付けをして発信したユーザーを対象に国内 249 件のアカウントを調査しました。

#### 掲載 URL

<http://minidoga.jp/blog/20140409.html>

#### ◇Vine について

6 秒動画 SNS の Vine は国内では、中高生を中心に利用が広がり、昨年後半から企業でもプロモーション事例が出始めるなど、注目を集めています。

2013 年 8 月 Twitter 社は、アプリケーションの登録ユーザー数が 4000 万人に達したことを発表しています。

#### ◇調査の背景

一方、国内では、ユーザー数は公開されておりません。現状では、2014 年 1 月のアクトゼロ社による調査により、年代的には少ない 10~20 代の利用が 61.4%と発表されるにとどまっています。国内利用実態が把握しきれない中、企業はテストマーケティング的に Vine プロモーションを立案しなければいけない状況となっています。

「ミニ動画 JP」は、目視による国内外 1000 件以上ものユーザーデータベース提供を、2014 年 3 月に開始し、今回、その利用実態まで踏み込んで調査・集計を行うこととしました。

#### ◇集計結果概要

アクティブ状況を把握するために、集計は以下の条件にて行いました。母集団は N249 です。

- ・調査日 2014 年 4 月 6 日～7 日
- ・目視により国内ユーザー特定
- ・「firstpost」タグをつけた投稿を、2013 年内にしたユーザー
- ・目視による直近 5 投稿の内容確認
- ・アクティブ状態を、投稿 3 件以上と定義

その結果、3 件以上の投稿をしているユーザーは、全体の 31.3%に留まることがわかりました。Twitter のような文字のみで済む投稿よりは、動画投稿の敷居が高いことが伺える結果となりました。

そして、その内容もアクティブユーザー（3 件以上投稿）を集計したところ 5 個以上カウントされた上位 8 単語については、日常やつぶやき、猫、ReVine（他人の投稿を自分のタイムラインに表示させる）、風景、といった比較的、権利関係を気にしなくて済む撮影しやすいものが上位をしめることがわかりました。

一方でライブ動画が多数投稿されており、クラブ、DJ、ダンス、といったことに興味を持つ層にリーチしている現状が伺えました。また動物では、犬よりは猫のほうが多く、おそらくここでも室内に居ることが多い「身近さ」が影響しているものと考えられました。

ただ、継続投稿をやめてしまったユーザーのうち、アカウント削除を行ったユーザーは 16.7%にとどまり、放置アカウントが多数存在する状況が浮き彫りになりました。Vine 動画におけるコンテンツディスカバナビリティ（コンテンツの見つけ易さ）を下げる現状が露呈した結果です。

現在、Vine では、タグ検索とユーザー検索を実装しており、見つけてもらうにはタグ付けが必須となり、この状況も、投稿の敷居を上げる要因となっている可能性が考えられます。

#### ◇Vine 側の対応

最近では、トリック動画や複数人数での撮影など、動画のクオリティが上がり、自分一人で撮影してつぶやくだけでは、なかなかフォロワーが増えにくい状況が生まれています。そのため、モチベーションが維持しづらく ReVine（他人の動画を引用）が増えていることとも、無関係ではないと伺えます。

そんな中、Vine は 2014 年 4 月 6 日に、LINE のようにユーザーと直接メッセージのやりとりの出来る機能を実装しました。これにより、公開が躊躇される動画も、知人とはシェアするといった使い方が考えられ、利用者の拡大が期待されています。

Vine 以外でも、Instagram や LINE SnapMovie など、ミニ動画のインフラは広がっています。「ミニ動画 JP」では、こうした、こうした可能性が広がる中、引き続き利便性やビジネス利用における情報発信を続けていきたいと考えています。

#### ◇掲載ページ

『Vine 動画の国内投稿状況、実態調査 2014 年春』

<http://minidoga.jp/blog/20140409.html>

